

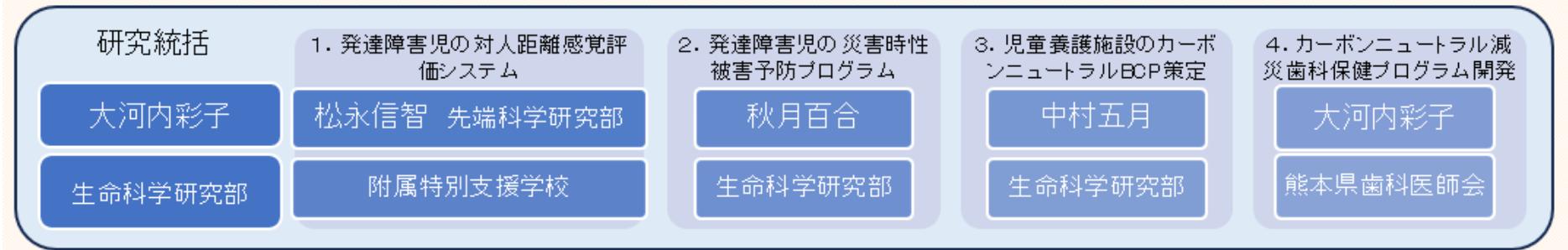
# スペシャルニーズのある子ども（CYSHCN）を 貧困・ジェンダー・健康の視点から包摂する防災 プログラムの開発

熊本大学大学院生命科学研究部 教授 大河内彩子

## 目的とするSDGsゴール



## 1. 取組・プロジェクトの概要



## 2. 取組・プロジェクトの目的

発達障害や虐待や貧困などにより配慮が必要な子ども（**CYSHCN**）は災害避難の困難や不適応が予測される。CYSHCNを取り残さないための包括的な**防災プログラムを開発**する。CYSHCN: Children and Youth with Special Health Care Needs

## 3. 今年度実施した取組・プロジェクト

### ・本年度中のプロジェクトの取組

1. アバターを用いて、ASD/ADHD児のパーソナルスペースをVR環境下で実測するシステムを開発



協力：熊本大学  
教育学部附属特  
別支援学校



- 2 および 3. 国内外の文献検討および調査実施

4. 障害児通所施設における歯科検診・保健指導を実施

### ・上記の取組によって生まれた成果 (SDGs達成へどのように貢献するのか)



協力：一般社団  
法人あゆみ、熊本  
県歯科医師会

### I. 論文および学会発表

1. Ayako Ide-Okochi, et al. Assessment of Sensory Processing Issues in Children with Neurodevelopmental Disorders and Experiences of Maltreatment, Children 11(2) 2024年, <https://doi.org/10.3390/children11020216>
2. 大河内彩子, 他. 自閉スペクトラム症児・者の性の実態と課題, 熊本大学医学部保健学科紀要第20巻, 2024年
3. 中村五月, 他. 児童養護施設における業務継続計画（BCP）策定の準備状況に関する質問紙調査, 第82回日本公衆衛生学会総会 2023年11月1日

### II. 課題の共有

1. 特別支援学校教員や放課後等デイサービスやこども食堂や歯科医・歯科衛生士と県内のスペシャルニーズのある子ども（CYSHCN）の状況や支援体制について協議を行い、研究に反映させることができた

### ・今後の展望

画一的な指導では対人距離の近いASD児の性被害・性加害の予防は難しい。我々は、類型ごとの推奨される行動を学習する医療用アプリを開発し、医師・歯科医師・心理士等による既存治療や教育と連携し、対象児の自尊心を向上させるシステムを開発したい。また、引き続き県内の支援機関や支援者と連携し、スペシャルニーズのある子ども（CYSHCN）の実態に合った支援策の検討を進めていきたい。